

月曜日

23

きょうのみことば

使徒 5:42

そして、毎日、^{みや}宮や
^{いすい}家々で教え、イエスが
キリストであることを
^の宣べ伝え続けた。

子ども伝道弟子の最高の祈り

どうすれば、一番よく伝道することができるでしょうか。伝道する前に、^{わたし}私^ががまず福音を味わうことが、正しいはじまりです。がんばって遠いところに行くよりも、^{わたし}私^ががいる現場で毎日、静かに伝えることがすばらしい伝道です。一人だけではなく、チームになって、伝道を続けることが、子ども伝道弟子の目標です。

1. 伝道は神様がなさること

伝道は、神様の^{めぐみ}恵みでなされます。すべてのできごとと出会いには備えられた神様の答えがあります。わざわざ伝道しにでかけなくても、現場に行けば、伝道の門がパッと開いています。伝道は私がするのではなく、神様がなさる働きです。

2. 人生の中で自然になるようになる伝道

カバン中に週報と伝道トラクトを入れて通いながら、友だちにプレゼントでわたしてみてください。伝道対象者として長い間祈ってきた友だちがいるならば<子どもの祈りの手帳>とともに私がどのようにイエス様に会うようになったのか手紙で書いてわたしてみてください。遠くに出て行ってする伝道よりも、生活の中で自然になるようになる伝道が本物の伝道です。

3. 伝道者として呼ばれたレムナント

伝道者は福音で幸せな人です。この幸せなことは、家庭と学校にまで影響があります。レムナントは伝道者として呼ばれました。福音で豊かに幸せになって、重要で急ぐ所に福音の影響をおよぼすようにしましょう。

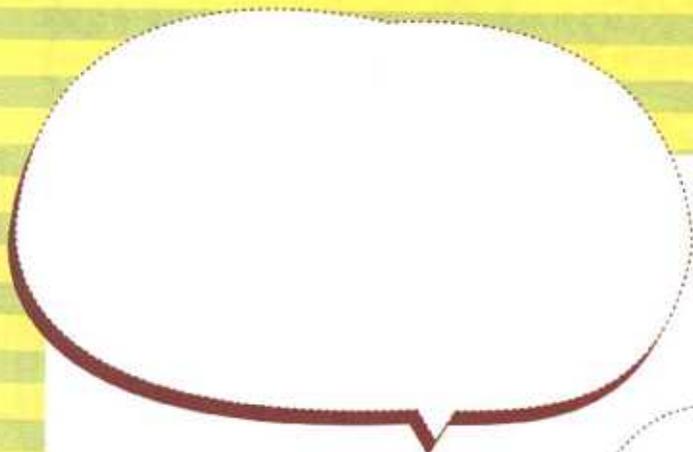
福音を愛して、一つの心で、すべての心で、続けて福音を自慢する伝道弟子にならせてください。毎日、神様があたえてくださった答えを感謝して、なっていくしかない伝道の祝福を味わってください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



だい す
大好きな 友だちへ

レハブアムとヤロブアムは、いつもけんかをしていました。レムナントのみなさん
レハブアムとヤロブアムに福音的な^{みくいんてき}忠告^{ちゆうこく}をしてあげてください。



火曜日

24

きょうのみことば

使徒 2:46 ~ 47

そして毎日、心を一つに
して宮に集まり、家で
パンを裂き、喜びと真心を
もって食事をともにし、
神を賛美し、すべての
民に好意を持たれた。
主も毎日救われる人々を
仲間に加えてくださった。

わたし

私の家は

みことばが成就する現場

マサトの周りにはたくさんの友だちがいます。マサトがおもしろくて、友だちをよく助けてあげるからです。ある日から、マサトを中心に、教会学校の友だちが携帯電話の待ち受け画面に、礼拝のタイトルを出すようになりはじめました。そして、友だちの家に遊びに行くと、かならず「子どもの祈りの手帳」を持って行って、フォーラムをします。このすべてが、マサトの家で集まるミッションホームでみことばを受けて、おたがいにフォーラムをして起きていることです。

1. 神様のみことばをなしとげることを進んでみましょう

神様が私の現場で約束のみことばを宣言された瞬間から、祝福は始まります。しかし、重要なのは、神様のみことばを記憶して一つずつ実践することです。みことばを忘れないように、マサトと友だちのようにならなうにしてみましょう。これが、まさに神様のみことばをなしとげることを進んですることです。

2. 神様のみことばに従って導かれましょう

道に迷った時、地図を見ればすぐ道が見つかります。日曜に宣言されるみことばは、まさに私たちの人生の地図(道しるべ)です。神様のみことばに従って導かれれば、どんな困難も、悲しみにも勝てます。

3. 世界福音化のすてきな主人公になりましょう

神様のみことばをひとつひとつ実践するのは、福音を持った神様の子ども開始です。みことばの道しるべについて行くのが一生歩いて行かなければならない道です。また、私たちの目標は世界福音化です。神様はこのことにレムナントを主人公として呼ばれました。

礼拝のときに受けたみことばをひとつひとつ実践するように力をあたえてくださってありがとうございます。いつも神様のみことばに従って導かれ、世界福音化のすてきな主人公として用いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✻ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう





RUTC

ぬりえ

WARD

水曜日

25

きょうのみことば

1ペテロ 1:2

父なる神の予知に従い、
御霊の聖めによって、
イエス・キリストに従う
ように、またその血の
注ぎかけを受けるように
選ばれた人々へ。どうか、
恵みと平安が、
あなたがたの上には
ますます豊かにされます
ように。

神様のみことばをにぎりましょう

聖書はずっと昔に書かれた本です。しかし、読めば読むほどおもしろく、新しい事実をひとつひとつ発見することができます。なぜでしょうか。今も成就する神様のみことばだからです。

1. みことばの核をにぎりましょう

神様のみことばである聖書の核は何でしょうか。すべての問題の解決者であるイエス・キリストがサタンの権威を破って、私たちを救われたという約束です。律法や神秘や偶像では神様に会うことができません。初代教会は「ただ福音だけが解答」というみことばをにぎって勝利しました。

2. 今日のみことばをにぎりましょう

私にくださった「今日のみことば」を黙想してみましょう。私がかねらずしなければならぬ「今日の祈り」をしてみましょう。出会うすべての友だちに「今日の伝道」をしてみましょう。そうすれば、毎日、解答が出てきます。かならずなる未来の祝福が今日、私のものになります。

3. 未来を見通しましょう

人々は自分のはっきりしない未来について不安に思っています。それで占って偶像の前にお辞儀をします。しかし、レムナントは、占う必要も、偶像の前にお辞儀をする必要もないのです。なぜでしょうか。神様がレムナントの未来の責任をもってくださっているからです。それだけではなく、私にぴったり合うタラントをくださって、そのタラントを通して、どこかのだれもついてくることができない唯一性の祝福をくださいます。

愛の神様、みことばの核であるイエス・キリストが、私のすべての問題を解決してくださったことを信じます。聖霊とともにいてくださって、いつも導いてくださり、私の未来を完ぺきに責任をもってくださることを感謝します。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



キリストの割礼を受けた 契約の民



シンバイくん：「割礼？いったいそれはなんのこと？」



イカゲンくん：「ハハハ。知らないの？包茎手術のことだよ」

割礼は、包茎手術とはちがいます。包茎は、包皮が陰茎の前部を覆っていることを言います。幼い時は、包皮(陰茎を覆っている皮膚)が陰茎について、おとなになりながら、とれていくようになります。おとなになっても離れていなかったり、病気になる場合に、包皮を切りとったりします。これを包茎手術と言います。しかし、割礼は神様の契約の民というしるしで、陰茎の包皮の先を切ることで、神様がくださった契約と、自分自身がその契約の祝福を味わう民だという事実を、一生、覚えるように刻んだしるしだったので、

それでは、今でも割礼をすべきでしょうか。キリストが来られた後には羊を殺して、いけにえをささげる必要がなくなったように、からだにする割礼は必要がなくなりました。しかし、手でからだにする割礼の代わりにキリストの割礼を受けなければなりません。

キリストの割礼とは何でしょうか。イエス様をキリストとして信じて受け入れたのですか。それなら、たましいにすでにキリストの割礼がされました。永遠に消えない契約の民のしるしが聖霊によってたましいに刻まれたのです。神様に一度、告白してみましようか。

「私は、キリストの割礼を受けた契約の民です！

神の子どもにしてくださいありがとうございます。愛しています！」

木曜日

26

きょうのみことば

使徒 1:1~8

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。(8)

福音的な祈りをしましょう

神様は「こんどのテストで、100点がとれますように」という祈りより、「神様、私が福音のためにがんばって勉強できるように知恵をください」と祈るように願われます。

1. まことの祈り

神様が聞かれるとき、本当に苦しい祈りがあります。ところで、反対に喜びがあふれるまことの祈りがあります。それは、イエス様が教えてくださったように「神の国とその義とをまず第一に求めなさい」と言われたように求める、福音的な祈りを神様が本当に喜んでくださいます。

2. 答えられる祈り

神様はみことばを通して答えてくださいます。それで、礼拝時間に講壇のみことばをよく聞かなければなりません。<子どもの祈りの手帳>を通してくださるみことばを黙想しなければなりません。みことばを聞いて、黙想してみるならば、神様が私の心と考えを通して答えられることを体験するようになります。

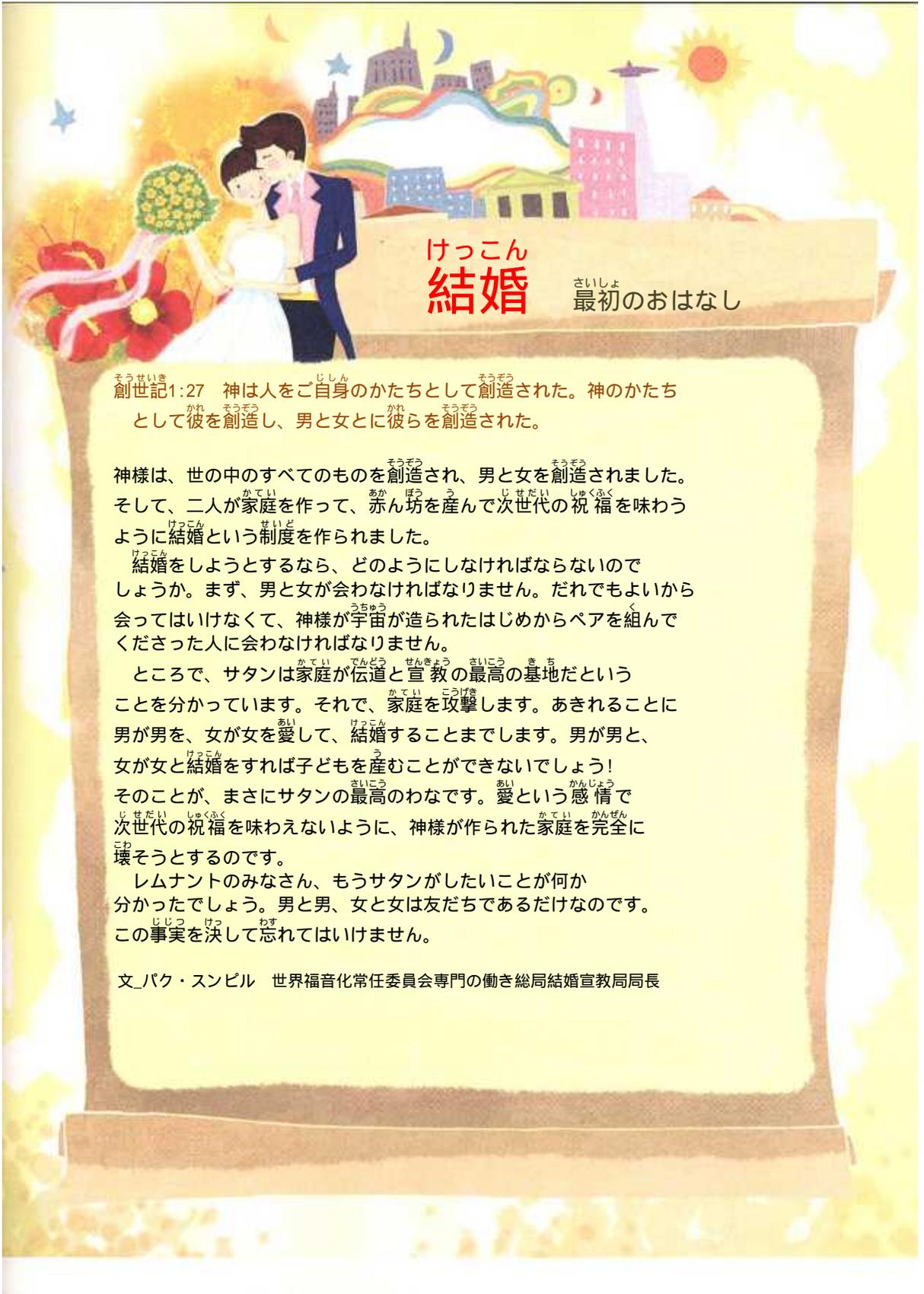
3. まことの力を得る祈り

レムナントが福音的な祈りを通して答えをずっと受ければ、霊的な力が生じます。だれも手助けしなくても、聖霊に満たされた生活を生きることができます。かたく閉じている伝道の門もパッと開かれます。現場が変化する伝道者の霊的なリズムを味わうようになります。

神様、神様が願っておられるまことの祈りをするように助けてください。福音的な祈りを通して私の心と思いを守ってください。いつも私にまことの答えと霊的な力をくださるイエスキリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう





けっこん 結婚

さいしょ
最初のおはなし

創世記1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

神様は、世の中のすべてのものを創造され、男と女を創造されました。そして、二人が家庭を作って、赤ん坊を産んで次世代の祝福を味わうように結婚という制度を作られました。

結婚をしようとするなら、どのようにしなければならないのでしょうか。まず、男と女が会わなければなりません。だれでもよいから会ってはいけなくて、神様が宇宙が造られたはじめからペアを組んでくださった人に会わなければなりません。

ところで、サタンは家庭が伝道と宣教の最高の基地だということを知っています。それで、家庭を攻撃します。あきれることに男が男を、女が女を愛して、結婚することまでします。男が男と、女が女と結婚をすれば子どもを産むことができないでしょう！そのことが、まさにサタンの最高のわなです。愛という感情で次世代の祝福を味わえないように、神様が作られた家庭を完全に壊そうとするのです。

レムナントのみなさん、もうサタンがしたいことが何か分かったでしょう。男と男、女と女は友だちであるだけなのです。この事実を決して忘れてはいけません。

文_バク・スンビル 世界福音化常任委員会専門の働き総局結婚宣教局局長

金曜日

27

きょうのみことば

使徒 5:17~32

そこで、大祭司とその仲間たち全部、すなわちサドカイ派の者はみな、ねたみに燃えて立ち上がり、使徒たちを捕え、留置場に入れた。(17-18)

はくがい しゆくふく か 迫害も祝福に変える福音

大祭司たちと多くのユダヤ人が言いました。「この悪いやつめ。あれほど警告していたのに、イエスを伝え続けるとは！おまえらは、まだ、痛い目にあっていないんだな。おい、あいつらをむちで打て！」イエス様の弟子たちと初代教会の信徒は、福音を伝えるという理由でとても迫害されました。

1. 福音のために受ける迫害は終わりではありません

教会の歴史を見れば、時代ごとに伝道者たちは、大きな迫害を受けました。しかし、伝道者は、迫害がおそろしいからと伝道をあきらめませんでした。かえって、さらに福音を伝えました。彼らは迫害を受けたあとに、もっと大きい伝道の門が開かれるという奥義を知っていました。

2. 福音を伝えるとき、迫害されることもあります

学校でイエス様を伝えてみたことはありますか。福音を伝えたら、友だちが何と言いますか。もしかしたら、からかったり、あれこれ問い詰められたりしませんか。福音を伝えてみたら、いろいろな事を体験します。神様はその全てのものをすでにみんな知っておられます。神様はすでに出る道を開いておかれて、越えられる力も備えておられました。

3. 福音を味わえば迫害もおそろしくありません

神様の愛を悟れば感謝と喜びがあふれます。それで、だれが困らせておそろしくありません。むしろ迫害を感謝をもって受けることができます。福音を知らずに迫害した友だちのために祈ってみてください。神様は驚くべき答えを備えておられました。

私を救ってください、神の子どもにしてくださいまして感謝します。福音を毎日味わって、どんな迫害もおそれないで福音を大胆に伝えるかっこいいレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう





イザヤ 33:22

まことに、主は私^{わたし}たちをさばく方、主は私^{わたし}たちの立法者、主は私^{わたし}たちの王、この方が私^{わたし}たちを救^{すく}われる。

アドナイ・メレク

アドナイ・メレクとは、**神様が王だ**という意味です。イスラエルの人々は、主をメレク、すなわち王だと信じました。単純に、イスラエルの王ではなく、地球のすべての民族を治める王だと信じました。エルサレムの神殿は、神様の天の御座の象徴だと理解して、来られるメシヤは、その民を敵から救って、全世界を治める主権を立てられるだろうと期待しました。それは、新約時代になってイエス様を通して成就されたのですが、イエス様は、眞の従順を通して、この世に眞の王国、すなわち、神の国を完成されました。

全世界は、今、霊的問題によって困難にあります。サタンに捕われて、苦しんでいます。それで、イエス・キリストが眞の王としてこの世に来られました。キリストの福音が入るだけで、サタンの勢力は崩れて、神の国が立てられます。

ですから、福音を伝えるレムナントの一步ごとが重要^{じゅうよう}です。レムナントは、世界を生かす光であり、塩^{しお}なのです。

今日一日、王であるイエス様を大胆に、謙虚に友だちに伝えてみましょう。



24日(土)

Yes,
Jesus loves me!

「ヨシキは～、ヨシキは～、アルファベットも～知らないね」
子どもたちが、ヨシキのまわりをぐるっと囲んでからかいはじめた。
ヨシキは顔がまっかになった。子どもたちはヨシキの反応が
おもしろくて、もっと大きい声で歌った。

「ヨシキは～、ヨシキは～、アルファベットも～知らないね」
「ちがうよ！ ちがう！」

ヨシキは、ぱっと立ちあがって、子どもたちをおしのけて走り出した。

教室のドアを出て、校門を過ぎ、家の前まで走った。

「ヨシキ、そこでなにをしているの。学校は？」

ちょうど家から出てきたお母さんが、とてもおどろいてたずねた。

「どうしたの。なにかあったの？」

「友だちが、ぼくがアルファベットを知らないとからかうんだ。」

ほかの子たちは、もう塾で、みな習ったのに、ぼくも塾に行きたい!!」

「ごめんね。ヨシキ。うちの状態で塾にやることはできないの」

「もう、ママもきらいだし、友だちもきらいだし!!」

怒ったヨシキは、ドアをぱっと開けて家に入った。あとについて入ってきた

ママは、台所に入った。そして、冷蔵庫から熟した柿を二個出して

怒ったヨシキにこっそり渡しながら話した。

「ずっと、そんなふう^{あま}に怒^{おこ}って、きらいだと言って
いたら、それは人を殺^{ころ}すことと同じよ」
「だれがそんなことを言ったの？」
「イエス様がそう言われたの」
ヨシキは、口をぐっととじて、ママを見ることもしなかった。
「でも、イエス様はそんなヨシキも愛^{あい}してくださっているのよ」
「そんなことはない！ ぼくなんて愛^{あい}していない!!」
「いいえ。神様は、あなたを愛^{あい}してくださっています。それを英語^{えいご}で
なんというか知っているでしょう」
「知らない！」
「ジーザス ラブズ ユウ (Jesus loves you)」
ヨシキは、きょとんとした顔^{かお}でママを見つめました。
「こういうときは、イエス、ジーザス ラブズ ミー (Yes. Jesus loves me)
と言うのよ」
ママはにっこり笑^{わら}いながら言いました。
「ほかの子たちは、英語^{えいご}をアルファベットから
習^{なら}うけれど、ヨシキは、イエス様があなたを愛^{あい}されるという
文章^{ぶんしょう}から習^{なら}ったから、もっと先^{まへ}を行っているのよ。
そうでしょう。ジーザス ラブズ ユウ」
「うん。イエス、ジーザス ラブズ ミー」
ヨシキは、柿^{かき}を一口、かぶりました。

ていにくいの
◆定刻祈りの点検： てんけん

昼 12 時

教会のために祈^{いの}りましょう。

夜 9 時

RUTC のために祈^{いの}りましょう

